



斜めにバンドが走り2段のようになっているが直瀑で、左手の岩溝を伝って、滝上部に出る。

その後はところどころに川原をもったゴーロとなる。岩屋手前の8mを高捲いた後は滝もなくなり、ヤブのかぶさった川原歩きとなる。雨も降ってきたが、ヤブをかきわけながら遡行を続ける。水流が消えたところでブナ林に入り、10分ほど登って、支尾根上に出る(高度1100m点)。(記・)

[タイム] 滝沢川林道終点(8:00)
→幽ノ沢出合(8:20)→
女滝(8:45)→男滝
(9:00)→岩屋(10:25)
→支尾根(12:00)

幽ノ沢中俣右沢

1992年8月22日

L.

幽ノ沢右俣の遡行終了後支尾根上で休憩していたが、雨に濡れ体も冷えてきたので、休憩もそこそこに出発。緩い斜面をだいぶ下って、やっと水流。沢床がトイ状、ナメ状のとなっているところを過ぎると、まもなく4~10mのトイ状滝や斜瀑が連続する場所に出る。側面の岩もよく磨かれて、ブッシュを伝って下降する。その後も小滝が続くが、下降できる。

迫力ある岩壁を右手に見、100mほどのナメを気持ち良く下ると女滝。左岸を懸垂下降して、滝裏側に降りる。滝の裏側からほとぼしる水流を透して眺める岩壁が印象的であった。

(記・)

[タイム] 下降開始(12:25)→左俣出合(14:10)→女滝(15:15)